

エコテックス®エコパスポート(OEKO-TEX® ECO PASSPORT)

～化学物質の管理と国際競争力を支える化学品認証～

「環境配慮」「安全性」「社会的責任」が強く問われる現代。皆さまも取引の際に、化学物質管理体制について確認される機会が増えていませんか。その背景には、各国の法令改正・規制強化が大きく影響していると考えられます。日本では、2022 年 5 月 31 日の労働安全衛生法関係法令改正により、新たな化学物質管理の制度が導入されていますが、2025 年 4 月 1 日に施行した最新の改正では主に以下 3 点改正されました。①表示・通知対象物^{※1}の追加(対象物質に約 700 の物質を新規追加)、②保護対象範囲の拡大、③請負人への周知義務(従来は労働者に対してのみだった周知義務が、一人親方や下請け業者等の請負人に対しても課せられる)です。化学物質を扱う職場では、もはや事業の規模にかかわらず「化学物質の管理」が必須な時代になったと言えます。

こうした中、化学品の安全性に特化した国際認証「エコテックス®エコパスポート」(以下エコパスポート)への注目度が年々高まっています。そこで一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(理事長:安藤 健)は、日本、そして世界で関心を集めているエコパスポート認証について、その仕組みや取得メリットなど、概要を分かりやすくご案内します。

表示・通知対象物質^{※1} 表示対象物質は労働安全衛生法においてラベルによる名称等の表示が義務付けられている化学物質のことです。通知対象物質は表示対象物質と同じく労働安全衛生法によって当該物質の譲渡・提供時に SDS の交付が義務付けられている物質のことです。

エコパスポート認証への関心が世界的に拡大－認証件数が前年比 45%増－

近年、化学品の安全性やサステナビリティに対する意識の高まりを背景に、化学物質の管理や選定において、より厳格で信頼性のある基準が求められるようになっていきます。2023/2024 年の最新統計によると、**世界全体でのエコパスポート認証取得件数は 1,828 件に達し、前年比 45%増**という著しい成長を記録しました。この伸びは正に、グローバル市場におけるサステナブル製品の需要拡大や、化学品の透明性を求める消費者・取引先の声を反映しています。

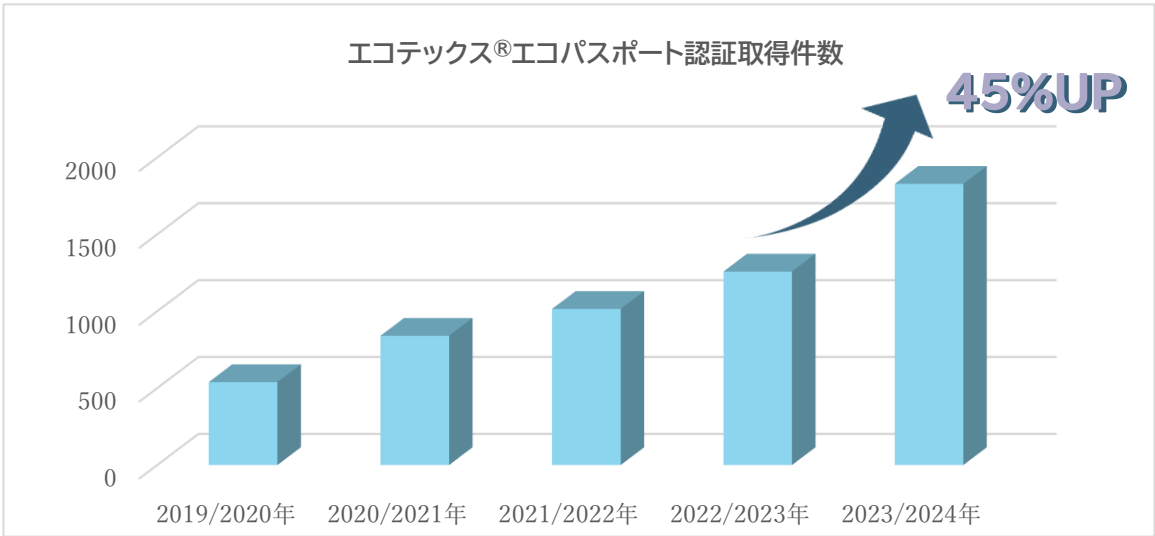


表 1 近年におけるエコパスポート認証取得件数推移

エコパスポート認証とは

染料・助剤・仕上げ剤など、繊維・皮革製品の製造に用いられる化学品を対象※2に、制限物質リスト(以下 RSL)に適合しているか検査し、人体や環境に有害な化学物質が含まれていないことを証明する認証です。サプライチェーンの川上に位置する化学品原料に対して、厳格な基準に基づくチェックを行うことは、最終製品の安全性と信頼性を支える重要な仕組みです。

また、エコパスポートのRSLは、ZDHC※3、EU の REACH 規則などの国際規制にも適合しているため、グローバル市場における信頼の証となります。



図1 エコパスポートの分析試験

対象※2 エコパスポート認証対象は、2025 年以降汎用化学薬剤およびメンテナンス用化学薬剤にまで拡大しています。

ZDHC※3 Zero Discharge of Hazardous Chemicals の略称で、繊維・皮革産業において有害物質の排出をゼロにするための活動をしている非営利団体を指します。ZDHC MRSL(制限物質リスト)に適合した製品は、ZDHC Gateway への登録が可能になります。

エコパスポートを取得するメリット

- ✓EU の REACH 付属書 XIV および XVII、ECHA の SVHC(高懸念物質)候補リスト等を含む、グローバルな化学物質規制に対応
- ✓「[スタンダード 100](#)」「[ステップ](#)」「[レザースタンダード](#)」等のエコテックス®認証における前提条件として認められており、これらの認証取得にかかるコストを削減させることが可能
- ✓認証化学品は、「[OEKO-TEX® Buying Guide](#)」や [ZDHC Gateway](#)、[GoBlu BHive](#) アプリに掲載可能
- ✓貴社のニーズに合わせてカスタマイズされた 3 段階の認証(表 2 参照)

ZDHC 適合性レベル	CAS番号 スクリーニング	分析試験	セルフ アセスメント①	現地監査	セルフアセスメント② (化学物質有害性評価)	● 必須要件 ○ 任意要件
Level 1	●	●	●			
Level 2	●	●	●	○		
Level 3	●	●	●	○	○	

表 2 認証範囲及び ZDHC 適合性レベル

エコパスポート認証は、単なる化学物質規制への対応にとどまらず、企業の透明性や信頼性を高め、グローバル市場での競争力を強化する手段として注目されています。サステナブルなものづくりが求められる中で、化学品の選定・管理体制の整備は、今やすべての製造者にとって不可欠な取組みです。ニッセンケンは、アジアで唯一のエコテックス®認証機関として、これからもサプライチェーンのサステナブルな取組みを広くサポートしています。

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先 ◆

エコテックス®認証について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
E-mail:oekeo-tex@nissenken.or.jp

エコテックス®PR について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
事業推進室 マーケティンググループ
E-mail:pr-contact@nissenken.or.jp



2025.6.30

